

平成 26 年度の教育活動等に対する学校評価書

平成 27 年 3 月 13 日

学校法人富士学園 静岡県富士見中学校・高等学校

1. 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

- ① 「学習活動と部活動の充実」
- ② 「生徒の主体性の育成」
- ③ 「学校の独自性の追求」

平成 19 年度から平成 24 年度までの「新 5 カ年計画」の理念を踏まえ、生徒・保護者が満足し、教師一人ひとりが働きがいがあり、5 年後の急減期に地域で選ばれるような学校を目指す「第 3 期 5 カ年計画」の実現

2. 自己評価とそれに対する学校関係者評価

（※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）の数値で表すこと。）

| 評価対象 | 評価項目 | 具体的取り組み | 自己評価 | | 学校関係者評価委員会 | |
|---------------|--|--|------|--|------------|---|
| | | | 評価点 | 学校としての反省と改善策 | 評価点 | 意見 |
| 学習指導 | ・入学した生徒が学力を向上させ、希望の進路を実現できる学校づくり | ・特進コース I 類:毎日の補充授業 ・進学コース及び商業科 火・木曜日 WT 実施 ・夜間学習の水実施 ・特進コース II 類ゼミの実施 模擬試験(年 2 回)の受験 ・朝補習(毎日、希望者) ・夏・冬休み補習・不振者指導 ・高校 1・2 年生のシラバス作成 | A | ・長期休業の活用で、不振教科や苦手教科の克服 ・ウィクリーテストの実施 指導と評価の一本化 ・特進コース II 類ゼミを毎週月曜日に実施、年 2 回の模擬試験で勉強と部活を両立させ大学進学を目指す。 | A | ・シラバス作成により、各教科の先生たちが話し合いを行い、年間の進め方、テストによる定着度判定などにより、教員の学習指導再考にも活用できる。 |
| 生徒指導 | ・生徒一人ひとりが、問題や課題、将来の目標を見据え、自らも考え、工夫し、行動し、達成感を得ることができる学校づくり | ・個人面接(4 月) ・月 1 回の頭髪、服装指導 ・携帯電話マナー講座 ・スクールバス指導(4 月・2 月) ・部活動と連携したあいさつ運動 | A | ・排除の理論から学習に目を向ける指導へと共通理解の上での指導の徹底を図る。 | A | ・卒業式で生徒が立ち上がり「ありがとうございました」と言えることは、大変すばらしいことである。 |
| 進路指導 | ・入学した生徒が学力を向上させ、希望の進路を実現できる学校づくり | ・進路の手引き配布(全生徒) ・大学企業見学(2 年生) ・大学見学(1 年生) ・進路ガイダンス(1・3 年生) ・7・12 月に進路面接(1・2 年生) ・7・8 月に進路面接(3 年生) | B | ・センター試験で合格できる取り組みと、きめ細やかな進路指導を図る。 ・国公立大学合格 21 名 | A | ・進路実績を高めることができることが学校の評価につながっていく。 |
| 健康安全指導 | ・欠席、遅刻が少ない学校 ・安全指導や防災計画が整備されている学校 ・危機管理マニュアルが作成・活用されている学校 | ・交通安全教室(4 月) 通学路指導 ・防災訓練(5 月・9 月) ・地震避難訓練・津波避難訓練 ・防災講座 11 月・救急法講習 ・薬学講座 7 月 ・思春期講座 12 月 | B | ・朝、登校時の通学路指導 ・日常生活の中で声掛けと登校指導の徹底を図る。 ・外部団体との連携強化 | B | ・自分たちが学生の頃このように多数の遅刻、欠席があつただろうか。 |
| 組織運営 | ・中学校を併設する学校 | ・H26.4.5 中学校開校式 ・中学入試広報室設置 ・中学校説明会・体験入学(全 5 回) | B | ・スムーズな中学校開設を図る。 ・広報活動の内容検討による応募者の増加を図る。 | B | ・中学校は生徒数が少ないが、それにより手厚い指導を期待している保護者もいる。 |
| 保護者、地域住民等との連携 | ・保護者や地域住民への情報提供を発信することで、本校の教育活動への理解を深める。 ・公開授業、学校行事に多くの保護者や地域の人たちが参加や参観をする機会を設ける。 | ・学校だより(年 4 回発行) (4・7・11・3 月) ・富士見高通信(年 5 回発行) (4・5・7・10・12 月) ・号外(年 3 回発行 12・1・3 月) ・富士見祭 6 月(保護者・地域) ・公開授業(11 月)・HP に掲載 | A | ・中学生による見学会の実施 ・中学生 1 日体験入学に地域保護者などの参観を促す。 ・学校だより、富士見高通信ホームページ、静岡新聞等で情報を発信する。 ・FM ラジオフジの利用 | A | ・富士見は卒業後もフォローしていることが、地域を含め皆さんに安心感を与えていている。 |
| 施設・設備 | ・体育施設の充実と部活動の活性化 ・学校生活環境整備 ・併設中学校の施設整備 | ・第 1 体育館完成 24 年 7 月 ・グラウンド改修(27 年 5 月完成予定) ・部活動加入 week 4 月(一週間) ・第 2 棟校舎のトイレ改修 ・技術科室の新設(併設中学校) | A | ・学習環境整備及び部活動活性化のため施設の充実を図る。 ・併設中学校の施設充実 ・校内全トイレの様式ウォシュレットの設置 | A | ・グラウンド整備が進んできているが、グラウンド利用の部活の更なる充実 |
| その他の意見 | | ・「夢を高める新 5 カ年計画」 5 年間の総括 スローガン 「挑戦、自立、明るい学校」 ・第 3 期 5 ケ年計画 | | ・中学にても高校にても生徒が力を付けてくれれば、伝統は自然にできてくる。そしてそれが口コミにより波及効果を生んでくる。 ・地域との交流が盛んになれば、地域の見方は変わってくる、そして評価を上げていくことになる。 ・公立、私立を迷ったが、親が安心して子供の面倒を見てもらえる富士見を選択して良かった。 ・保護者アンケートでは、中学生保護者の評価も高く、期待感がうかがえる。 | | |

今後に向けての学校の考え方（学校関係者評価を受けて）

「第 3 期 5 カ年計画」の 2 年目の年。進学実績において国公立大 60 名突破の達成を図る。(ここ 5 年間は、30 名前後である。)

幅広い層の生徒を集めているので進路の方向性が多様であったため、まだ努力が必要である。

生徒や保護者の行きたい、行かせたい学校になりつつあるが、もう少し地域等に面倒見の良い学校であることを浸透させたい。